

令和3年度 つくしんぼ教室・児童発達支援評価

職員自己評価

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切であるか。	○			・基準を満たしていますが、お子さんの人数や活動によっては狭さを感じることもあるため、十分なスペースを確保しながら遊べるように環境設定を工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。		○		・2階に上がる手段が階段しかありませんが、低い手すりを設置するなどバリアフリー化に努めています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して、事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	・現在、第三者評価は行っておりません。実施方法を検討していきます。
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			・なるべく職員の学びの機会を確保出来るよう、オンラインの研修などにも参加してもらいました。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			・支援計画作成の際には、一人ひとり丁寧に会議で話し合いながら支援の内容について検討しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○			・新しくアセスメント表を作成し、お子さんの発達について統一した視点で評価をしています。

適切な支援の提供	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	○			・個別支援計画の内容を踏まえながら、日々の活動プログラムを立案したり、関わり方を検討したりしています。
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	⑭	活動プログラムが固定しないように工夫しているか。	○			・お子さんの目標や発達段階によって、同じ活動でもプログラムの内容を工夫しています。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをして、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			・支援の内容や役割分担だけでなく、リスクマネジメントについても確認し、お子さんが安全に過ごせるよう心掛けています。
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○			・毎日支援を振り返り、タイムリーに支援内容を検討しています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			・児童発達支援管理責任者が参画しています。
	㉑	母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。			○	・現在該当するお子さんの利用はありません。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支			○	・現在該当するお子さんの利用はありません。

関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携		援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。				
	②4	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			・電話連絡や訪問等を行い、情報共有に努めています。
	②5	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			・就学の際には引継ぎを丁寧に行っています。
	②6	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			
	②7	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。			○	・現在はコロナ禍ということもあり、交流の機会を設けていません。今後は保護者のニーズも踏まえ、実施の検討をしていきます。
	②8	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	②9	日頃から子どもの状況を家族と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について、共通理解を持っているか。	○			・連絡帳だけでなく、必要に応じて電話やメール、面談等でお子さんの発達の状況や課題についてお話ししています。
	③0	保護者の対応力の向上を図る視点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか。	○			・ペアレントトレーニングを全4回実施しました。
	③1	運営規定、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか。	○			
	③2	児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
③3	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			・毎日の連絡帳でやりとりをしたり、時には電話で話をする時間を設け、お話しを伺うようにしています。	

保護者への説明責任等	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。		○		・保護者会は実施しましたが、コロナ対策のためグループディスカッションや自由に懇談する時間がとれませんでした。懇談会実施のご要望を多くいただいているので、今後はコロナ禍でも実施出来るような方法を検討していきます。
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に、迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			・毎月教室のおたよりを発行し、行事や活動内容などをより詳しく伝えられるよう努めています。
	③⑦	個人情報の取り扱いに十分注意をしているか。	○			
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・『おもちゃ図書館』の開催を予定しておりましたが、コロナ禍により実施出来ませんでした。
非常時の対応	④⑩	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・各マニュアルを策定し、避難訓練やシミュレーションなどに取り組んでいます。 ・災害時の引き取り方法等については今後検討していきます。
	④⑪	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	○			
	④⑫	事前に、予防接種や、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	④⑬	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	④⑭	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	○			・毎月会議で報告し、一覧を回覧し意識を高めています。
④⑮	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	○				

	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定して、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○		・現在該当するお子さんや必要性のあるお子さんはいませんが、身体拘束やお子さんの権利について会議等で話し合っています。
--	----	--	--	---	--	--